

**令和5年度 第7回松山市新庁舎整備検討審議会
議事録（要旨）**

開催日時		令和6年2月8日（木） 午後1時30分～午後3時00分
開催場所		松山市役所本館5階 本部会議室
出席者	委員	山本会長、松村副会長、都築委員、森岡委員 上原委員、有堀委員、土手委員
	事務局	理財部 稲田公共施設マネジメント統括官 管財課 中矢課長、片野主幹、宇都宮副主幹、門田主任、平岡主任 都市整備部 公共建築課 眞鍋課長、高岡主査 都市デザイン課 村上主査
公開・非公開		全部公開（傍聴者2名）
次第		<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 議事 <ul style="list-style-type: none"> ・第6回審議会が出された基本計画（素案）に対する意見と反映案について ・松山市新庁舎整備基本計画（素案）について 3. 連絡事項 4. 閉会
議事内容		
山本会長	1. 開会	資料確認、開会宣言、傍聴の状況、委員の出席状況と会議成立の報告を行った。
山本会長	2. 議事	第6回審議会が出された基本計画（素案）に対する意見と反映案について
事務局		第6回審議会が出された基本計画（素案）に対する意見と反映案について、事務局の説明を求めた。
事務局		資料1. 第6回審議会が出された基本計画（素案）に対する意見と反映案についてに基づき、説明を行った。
事務局		<p>①新庁舎（北棟）のセットバックイメージについて、新たに鳥瞰1～10を作成した。この中から分かりやすいものを選んでいただきたい。事務局としては、鳥瞰5の角度が全体イメージをつかみやすいのではないかと考えている。</p> <p>②長周期地震動について、国土交通省資料では、愛媛県は長周期地震動の対象エリア外となっていることや、愛媛県庁第二別館の設計時の地盤調査資料で確認したところ、長周期地震動の影響は無いとの判断がされているが、新庁舎（北棟）の設計時にも個別に長周期地震動の検討を行う、と基本計画に追記し対応する方針としたい。</p>

事務局

③地中熱利用の建物と免震構造との組み合わせについて、地中熱利用は様々な種類があり、免震構造と相性の良いものもある。直径約20cmの穴を掘り、配管をフレキシブルなものとする方法があるが、穴自体は地盤の脆弱化をもたらすようなものではないため、免震構造に影響を与えることは無い。

④物理的セキュリティと情報セキュリティの区別について、基本計画（素案）の16ページ表のLevel 5重要情報ゾーン（サーバー室等）が情報セキュリティにも関わる部分であるため、破線を太くし、他のLevel 1と見え方を変えることし、新たに情報管理対策の強化に関する文章を追記する方針としたい。

⑤新庁舎（北棟）と本館をつなぐ渡り廊下について、パース及び平面イメージに追記した。

⑥新庁舎整備基本構想の基本理念と松山市総合計画の基本理念の2つのスローガンについて、それぞれの基本理念であることが分かるように、文章の修正を行う方針としたい。

⑦災害時の新庁舎（北棟）を避難所として活用することは、今後、発生が予想されている巨大地震を想定すると、本市としても重要な検討事項であると認識しており、防災・危機管理課にも審議会でのご意見として伝え、協議を行った。本市としては、庁舎は災害対応の情報収集・復旧対応の活動拠点とし、小中学校、公民館、城山公園等を避難所とする原則を維持したまま、これら施設が避難場所として利用できなくなることや、帰宅困難者等を想定し、新庁舎（北棟）で代替利用できるようゾーニング等を考慮しながら、今後の設計に取り組むとともに、指定の避難場所が利用できなくなった場合の例外的な新庁舎（北棟）の利用方法及び運用については、別途、防災・危機管理課で検討を進める方針としたい。

⑧⑨周辺市有施設での市民協働機能の内容、NTT・伊予銀行・愛媛県・市の四者で意見交換している四者協議での協議内容について、基本構想、基本計画（素案）の巻末資料の「本庁舎周辺の市有施設の位置図」に、周辺民間等施設を緑囲みで追記し、次ページ以降の一覧表で、周辺市有施設の利用対象者、対象者が利用できるスペース、利用・活動の内容をまとめた。

1. 総合福祉センターと2. ハーモニープラザについて、総合福祉センターは高齢者、身体障がい者、ハーモニープラザは児童、高齢者等に利用者限定し、スペースとして教養娯楽室、コミュニティルーム、児童館のほか、会議室やクラブ活動室といった複数の貸室を設けている。特定用途の施設になるため、利用・活動内容は、高齢者や身体障がい者のサークル・コミュニティ活動や、シルバー人材センター開催の講座で利用することが多い。

3. 市民会館、4. 男女共同参画推進センター、5. 総合コミュニティセンターは、利用対象者は特に限定しておらず、貸室として、市民会館はホール、練習室及び会議室、男女共同参画推進センターは会議室、多目的室及び調理室を設けている。総合コミュニティセンターはホール、研修会議室、体育館等を設けており、コンサート等の興行、市民団体の発表会、趣味のサークル利用、就職説明会・研修等の企業利用、大学入試など様々な利用・活動が行われている。

6. 番町公民館について、利用対象者は限定していないが、他の施設に比べて規模が小さいことや、地域の社会教育活動のために設置されているという特性上、貸室利用は地域コミュニティ寄りとなっている。

また、坂の上の雲ミュージアムでは、建築家の安藤忠雄氏からの提案・寄附により、敷地内に子ども向けの図書室が整備される予定である。

<p>事務局</p>	<p>本庁舎周辺の県有施設・民間施設の整備について、一覧表にて概要をまとめた。</p> <p>⑦. 愛媛県庁について、県庁舎第二別館を現在の位置で建て替えるもので、DXの推進に向けた官民共創と新しい働き方を推進するため、1・2階にDXゾーン、C o - W o r kゾーン、交流・共創・セミナーゾーンといった産学官が共同で利用する官民共創拠点を設ける内容となっている。昨年に既存建物が解体され、現在、新庁舎建設が進められており、完成は令和8年1月の予定となっている。</p> <p>⑧. NTTについて、昨年11月、市役所北側のNTT西日本四国支店敷地で複合開発事業を実施することが公表された。「働く」「住む」「集う」といった多様な活動の場や、交流空間として事務所や集合住宅、低層階には店舗や交流促進機能を整備し、立地特性を活かしてにぎわいの再生・拡大、企業集積につながる計画としている。複合開発事業の前段で四国支店ビルを移転させる必要があるため、番町小学校の北側敷地で新四国支店ビルの建設が進められていて、今年12月に完成した後、令和7年度に現四国支店ビルが解体され、令和8年度から令和10年度にかけて市役所北側敷地での複合開発が行われる予定となっている。</p> <p>⑨. 伊予銀行について、本店本館・別館と三番町通りを隔てた南別館の再整備を行う計画であり、新本館にはカフェやホール等の設置を検討している。また、公開空地での植樹等により松山城の緑を引き込む「緑街道」を整備し、インスタ映えするようなスポットにもしたいとも伺っている。現在、南別館跡地で令和7年春の完成を目指し新南館の建設が行われており、令和7年夏から現本店の解体を開始し、令和11年春の完成が予定されている。</p> <p>全体のスケジュールとしては、県の工事が令和8年の初めに完成し、続いてNTTと伊予銀行が概ね同時期の令和11年春頃の完成、そこから1年遅れて本市の新庁舎（北棟）が令和12年春頃に完成する流れになる。</p> <p>なお、一覧表は今週の月曜日に開催した四者協議で意見を伺い、まとめたものとなっている。また四者協議において、アドバイザーとして参画している松山アーバンデザインセンターから発案があり、利用者目線でエリア内の利活用、空間デザインを考え、地域の魅力創出につなげるため、同センターが主催となり、大学生等を参加者とするワークショップを開催したいとの申し出があった。四者協議参加者の反応は肯定的であり、今後の開催に向け、アーバンデザインセンターでワークショップの運営体制や着地点等の具体的事項を整理する段取りとなっている。</p> <p>⑩整備の方向性、⑪整備経費の削減への取り組みについては事務局で変更を加えさせていただきたい内容となる。⑩整備の方向性は、集約する建物と集約する場所を定めた結果を基本計画（素案）の9ページに追加をさせていただきたい。</p> <p>⑪整備経費の削減への取り組みについて、初期経費、維持管理経費を含めたライフサイクルコストを縮減できるよう、今後の設計業務に取り組む旨、基本計画の24ページの「(4) 事業スケジュール」を「(5) ～～」に繰り下げ、(4)に事業費等抑制の考え方に関して追記させていただきたい。</p> <p><以下、質疑・意見等></p> <p>都築委員 11ページの図について、前回の審議会で低層階に市民協働機能の追記したほうが良いと山本会長から指摘あったと思うが、今回の修正案では変更されていない。今後、反映予定はあるのか。</p> <p>事務局 市民協働機能については今後協議が進んでいくと思われるため、協議に合わせ記載の仕方を考えていく予定。</p>
-------------------	--

<p>松村副会長</p>	<p>質疑⑧について、実際の市民の活動として、どれぐらい活発でどのような活用がされているのか、もう少し追記していただきたい。例えば子育て福祉機能の窓口を新庁舎（北棟）に集約するのならば、窓口を利用される方々にフレンドリーな機能を集約していくなど、よりよい提案を考えるためのデータとして提示いただけるとよい。各施設で年報、活動報告書が必ずあると思うので、そこから情報を拾っていただき、情報提供いただけるとありがたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>使用頻度等、もう少し詳細を追記する形で修正する。また、新庁舎（北棟）の低層階における市民協働機能活用について、今後、各執務室、窓口等を平面に落とし込み、どの程度のボリュームが必要になるかを整理したうえで、福祉窓口への来庁者へ配慮しながら検討していきたい。また、敷地周辺の開発に合わせ、屋外敷地の市民協働機能活用も視野に入れながら検討できればと考えている。</p>
<p>都築委員</p>	<p>新庁舎（北棟）と隣り合うNTTの複合開発について、詳細がわかれば教えていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>昨年11月にNTTから公表されていたが、現在、複合開発の内容については計画を詰めている段階とお聞きしている。概要として聞いているのはカフェ、オープンスペースのような市民が集える空間を低層部に計画する予定とのこと。ただし、オープンスペースについてはNTT内で検討中とのこと。</p>
<p>都築委員</p>	<p>それを踏まえて、アーバンデザインセンターが主体となってワークショップ等、地域のまちづくりの取りまとめを行うということか。</p>
<p>事務局</p>	<p>アーバンデザインセンターとしては、市民目線がなくそれぞれで計画を進めているため、ワークショップを行うことで学生や一般市民目線の意見を取り入れて、空間デザインを考えていきたいというのが、ワークショップ開催につながっている。ワークショップの内容については同センターで検討すること。</p>
<p>都築委員</p>	<p>スケジュール的に問題ないと理解していいか。基本計画段階ならばワークショップの意見が反映できると考えてよいか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ワークショップの内容のうち、新庁舎整備に関わる内容を整理し、設計段階で落とし込むことを基本計画に記載できれば問題ないと考えている。</p>
<p>松村副会長</p>	<p>アーバンデザインセンターとしては、四者間で空間デザインがバラバラになることを懸念している。空間デザインとは、「その場所でどんな過ごし方をしたいのか、どのようなことをやりたいか」というもの。空間デザインの共有を行うために、ワークショップの議論が基本計画（案）に反映されなければ意味がないため、アーバンデザインセンターでは、4月末の審議会最終に間に合うように、空間イメージを示したイラストブックを作成したいと考えている。具体的な内容はそれぞれが詳細設計を行う中で整理していくことになる。まずは共有のイメージをまとめていくことがワークショップの趣旨になる。</p> <p>個人的には松山市にとって二番町通りは極めて重要と考えている。松山の規模でハイブランドの路面店がない現状に対して、二番町通りはハイブランドの路面店が並ぶに値する十分なポテンシャルがあると考えている。その二番町通りの入口となる公共部分をどのように設計していくかは、松山に大きなインパクトを及ぼすのではないかと考えている。今回の整備から始まり、大街道に向かうまでの二番町通りの賑わい再生を生み出すきっかけになることを期待している。</p>

<p>森岡委員</p>	<p>周辺の市有施設での活動状況については、足りていない機能がわかるような資料の整理をしてほしい。例えば、男女共同参画はコムズが担っているがLGBTQはそうじゃないなど。市民協働スペースを設けるのであれば、10年・20年後まで役に立つような方法でなければならないし、市の方針がいかされるようなものでなければならない。松山市は、DX系の機能とか情報を市民が利用して何かデジタルなインキュベーションするとか、仕事につながるような機能が非常に弱いと感じる。松山市は情報で競争力を伸ばし外貨を稼いでいけるような方向で動いていると思うので、街づくりやこれからのビジネスについて市民が考えることのできる場を考えていくべき。今後のPFIなどにつながっていくと思う。そのため、今後、戦略的に松山市の力を伸ばしていくために、ビジネスの場を作っていくために何か市が協力できないか、市役所にそういった設備があった方が良いのではないかと議論もなされるべきだと思う。</p>
<p>都築委員</p>	<p>基本構想では既存の庁舎機能を集約して、そのために必要な面積の積み上げで割り切って計画していくと理解していた。もちろん議論していくことは大切だが、前回までに議論していなかった機能まで盛り込んでいくとなってくると、今までの議論がご破算になってしまう可能性があることを危惧している。</p>
<p>森岡委員</p>	<p>情報化が進んでいくと今まで必要だったスペースが減っていき、空いたスペースを活用できると思うので、市の公共施設として足りていない機能のあぶり出しを行うことは大事だと思う。少々、景観に話が偏っていることが気になっている。</p>
<p>土手委員</p>	<p>市有施設の市民利用について、各施設はどのような方々が利用しているのか、また市役所職員の通勤手段の情報もあればお教えいただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>各委員からのご意見をまとめ、資料修正を行う。また市庁舎のボリュームについて、狭い敷地のなかで、新たな機能を設けるためには建物の高さを上げていくしかなく、これまで審議されていた建物の高さを抑える話と反してしまう。また、低層階の福祉窓口に来庁される利用者への対応を考慮しながら、どこまで新たに面積を確保できるか、検討する必要がある。ただし、新庁舎整備は北棟だけではなく将来的に本館建替も行うため、ご意見いただいたうえで、どの段階でどのように反映していくかは検討していきたい。</p>
<p>山本会長</p>	<p>長周期地震動について、今回の整備で問題ないことが把握できているならばわざわざ追記しなくてもよい。また情報セキュリティについて、質疑に対して少し内容に齟齬があるため再度確認いただきたい。</p>
<p>山本会長</p>	<p>松山市新庁舎整備基本計画（素案）について 松山市新庁舎整備基本計画（素案）について、委員に意見を求めた。</p>
<p>有堀委員</p>	<p><以下、質疑・意見等> 議会機能は中層階以下として、最上階に食堂を配置する方が良いのではないかと考える。もっと食堂をPRし、眺望が良く快適な空間で食事ができれば市民・職員にとっても良いのではないかと考える。</p>
<p>事務局</p>	<p>食堂は、NTTの複合施設との利用者の奪い合いになる可能性を考慮する必要がある。これから詳細な設計を行う中で面積確保ができ、民間企業の参入の可能性があれば検討したいと考える。なお、議場は、柱の少ない大規模空間であるため、議場より上に執務室を設けようとした場合、荷重に耐えられない可能性がある。上層階に配置することで建設コストの抑制にもつながると考えている。</p>

<p>松村副会長</p>	<p>周辺の公共空間の話に議論が集中し懸念しているという話があったが、基本計画（素案）では13ページ「景観との調和」くらいにしかその話が入っていないのが非常に問題であると感じる。建物屋内だけではなく、屋外についても敷地の一部であるとの認識が必要。13ページに4)として、公共空間の市民的な活動、潜在的な活動を活かすような機能の活用ということを追記してもらえると良いが、具体的に書き込めないと思うので、周辺の開発状況に合わせて検討していく必要があると思う。</p>
<p>山本会長</p>	<p>その他の点についても書き込みが不足している点が見受けられるため、4月に向けて詰めていきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>13ページのセットバックイメージについて、何点か修正案を作成したがいかがか。</p>
<p>松村副会長</p>	<p>榎町通りからのセットバック位置は新庁舎（北棟）とNTTで合わせてほしい。</p>
<p>都築委員</p>	<p>松山城が見え、全体がわかるような図が良い。</p>
<p>土手委員</p>	<p>新庁舎（北棟）と本館をつなぐ渡り廊下がわかりやすい図が良い。</p>
<p>山本会長</p>	<p>以上の意見を踏まえ、2つほど事務局で選んでいただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>影の位置とパースの効き具合を修正し、再度イメージ図を作成する。</p>
<p>山本会長</p>	<p>DXとGXについて、専門的な意見やご提案をいただくために情報通信分野及び環境分野等について見識の高い「東京大学大学院 江崎 浩教授」を松山市新庁舎整備検討審議会条例第7条意見の聴取に基づき当審議会にお呼びしたいと思うがよろしいか。</p>
<p>委員各位</p>	<p>異議なし。</p>
<p>事務局</p>	<p>3. 連絡事項 第8回審議会の案内を行った。 日時：令和6年3月8日（金） 13：30～ 場所：松山市役所本館5階 本部会議室</p> <p>4. 閉会</p>